

OFA第32回大阪府U-11小学生サッカー大会三井のリハウスカップ 兼 関西小学生サッカー大会大阪府大会 大会規定

1.大会名	OFA第32回大阪府U-11小学生サッカー大会三井のリハウスカップ 兼 関西小学生サッカー大会大阪府大会
2.主催	一般社団法人 大阪府サッカー協会
3.主管	一般社団法人 大阪府サッカー協会 第4種委員会
4.後援	日刊スポーツ新聞社
5.協賛 協力	(協賛社) 三井不動産リアルティ株式会社 (協力) (確認中)
6.参加費	7000円×エンターチーム数(当協会の主催する競技会への参加費は不課税取引として取扱いとなる)
7.日程	大会エントリー終了後から中央大会抽選日前日までに地区予選を実施
8.会場	大阪府下全域とする。地区代表による中央大会は4種委員会が用意した会場で実施する
9.競技方法	地区予選はリーグ戦、トーナメント戦のいずれか。中央大会は48チームによるトーナメント制
10.競技時間	地区予選は15分ハーフまたは20分ハーフとする。中央大会は20分・5分・20分
11.参加資格および年齢	5年生以下の選手で地区代表になった際、中央大会の日程に参加する義務を有する。
12.コートサイズ	68m×50mを推奨する。ゴールの大きさは5m×2.15m(少年用サッカーゴール)とする。
13.競技規則	大会規定に記載のないものは(公財)日本サッカー協会「8人制サッカー競技規則」最新版に準じ、これ以外の部分は、(公財)日本サッカー協会「サッカー競技規則」に準ずる。
14.競技人数	8人
15.エントリー	エントリー方法(別紙参照 第4種委員会HPに掲載) エントリーサイトの入力と大会参加費の振り込みを締切までに行うこと
16.AEDの確認	各会場本部役員及び各会場提供責任者は、AEDの設置場所の確認に努める。
17.中央大会日程	2026年1月31日(土)・2月1日(日)・2月7日(土)・2月8日(日)
18.中央大会会場	4種委員会が用意した会場(J壇予定)
19.中央参加費	1チームにつき5,000円を中央大会初日に徴収する。
20.中央競技方法	トーナメント方式
21.中央大会出場チーム	48チーム(8地区出場枠は各地区出場チーム数によって按分のうえ32枠を決定。) 4種リーグU11から8枠(ABゾーン1部から4枠、CDゾーン1部から4枠)と各地区1枠を上記32枠と別に与48チームとする。
22.組み合わせ抽選日	【抽選日】2026年1月26日(月) 開催予定
23.組み合わせ抽選会場	会場:未定
24.各大会への出場権	大阪府大会上位4チームは『フジバンCUP関西小学生サッカー大会』に出場する義務を負う。関西大会出場権を獲得したチームは必ず大阪府大会メンバー(ベストメンバー)で出場する事。 関西大会の辞退は認められない。(他の大会、自チーム行事、遠征等が関西大会と重複した場合は必ず関西大会を優先する事。 関西大会出場に関し何等かの問題を生じさせたチームはJFA諸規定に準じてOFA司法機関で最も重い懲罰を科す事とする。懲罰を科されたチームはその懲罰を遵守する義務を有する。
25.試合の成立	試合開始時に6名以上とし、一方のチームが6人に満たない場合は試合を開始しない。ただし、試合中の負傷等による競技者が6人未満にならない限り試合は続行する。
26.棄権 (書類不備、大会規定違反を含む)	「選手証」「メンバー表」「申送り書」などの書類不備が生じた場合や参加資格のない選手を出場させた場合などのスコアは0-99とする。 審判不履行などの大会運営に重大な支障をきたしました場合、その指導者のチームの試合を不戦敗(0-99)とする。またこの結果で順位に影響のある場合は上記の通りとする。
27.予選リーグ戦実施の場合	リーグ戦の順位は勝ち点一当該結果一当該得点一得失点一多得点一抽選の順
28.交代選手	試合毎の登録は交代選手を含め10名までとし、試合に出場していない競技者は交代要員となる。一度退いた選手は再び交代要員となる。
29.警告	大会期間中、警告の累積が2回になった選手・指導者は次の1試合に参加できない。地区予選での警告は中央大会に持ち越さない。
30.退場	退場を命ぜられた選手・指導者は次の1試合に参加できない。その処分は規律委員会にて決定する。 また、試合中に負傷退場した場合、主審は別の選手を補充して8人にしてから試合再開なければならぬ。(ただし、登録選手が8人の場合除く) 地区大会での退場は中央大会に持ち越さないが、悪質な反則による退場に関してはその限りではない。(1発レッド)
31.メンバーチェック	試合開始30分前までに本部で選手証【メンバー表】[申送り]のチェックを行なう。【選手証】とは電子登録証カラーコピーであり、携帯電話などの画面での確認は不可とする。 選手証、メンバー表と当日の選手の並びは全て同じになるように揃えておくこと。ユニホームに広告がある場合はJFAからの「回答書」を持参しておくこと。
32.選手証	提示のない場合、顔写真を貼っていない場合は出場を認めない。また、チームとして提示のない場合は棄権とする。 電子登録証カラーコピーを認め、携帯電話などの画面での確認は不可とする。
33.背番号・胸番号	シャツの前面及び背面には、選手番号を必ず表示しなければならない。選手番号は、服地と明確に区別し得る色彩 (服地が縞柄等であって明確な識別が困難なときには、台地を付ける)か判別が容易なサイズのものでなければならない。
34.ベンチ人数	チームベンチでは指導者3名まで登録選手のうち16名のみとする。(合計19名以内とする)
35.審判	1人制で行う(主審・補助審判ともに有資格者が行うこと) 新規及び昇級等で審判証が発行元にない場合は、審判委員会の押印のある合格(証)通知と顔写真つきの本人確認できるものを提示する義務を負う。 協会派遣の場合、及びアクティブ登録を行い指導を受けた審判員の主審を認める。通常のユース審判員の中央大会までの補助審判を認める。 正規の審判服を着用すること(アンダーシャツ・アンダーパンツは同色または黒のみ認める) 審判証(写真貼付済)の提示及び所定の位置にワッペンの貼付を義務とする。(カラーホーム登録証を可とする。)
36.ユニフォーム	FPは正・副2セット必要(副ユニフォームのビズは認めない、正・副ともに背番号、胸番号が必要) ユニホームとはFPで番号以外は全く同じもの、GKで番号以外は全く同じもののこととする。(ただし、メーカーの変更や移動のみの場合はその限りではない) GKは正・副ともにFPと別色の2セット必要(GKユニフォームのビズは認めない、正・副ともに背番号、胸番号が必要) カーフソックスを使用する場合は下に履くソックスはカーフソックスと同色のものとする、または下に履くソックスが見えない状態とすること ベンチ選手・指導者はユニホームと同色のウェアは着用できない(ビズや別色のウェアで対応すること) GKがFPとして出場する場合、又は、逆の場合の背番号は固定番号であれば、必ずしも一致しなくともよい。(正副の番号は一致しなくてもよい) ただし、事前のメンバー表にそれぞれの背番号を記載しておくこと。 テーピング等をソックスの上に着用する場合は着用するソックスの部分と同色のみ認める
37.アンダーシャツ	シャツの袖の下から見える場合袖の主たる色または裾と同色であること、また袖の主たる色と裾の色が別色の場合チームでどちらかを選び統一していることとする。
38.アンダーショーツ	ショーツ下から見える場合ショーツの主たる色または裾と同色であること、またショーツの主たる色と裾の色が別色の場合チームでどちらかを選び統一していることとする。
39.キックオフ	キックオフから直接相手側のゴールに入った場合は、相手側のゴールキックから再開する。
40.テクニカルエリア	設置することができる
41.競技者の交代手続き	(FPの場合)交代によって退く選手は、交代ゾーンからフィールド外に出て、その後、入る選手は、交代ゾーンからフィールドに入る。 インプレー中、アウトオブプレー中にかかわらず交代でき、主審及び第4審の承認は必要としない。ただし、GKを含め、第4審の用具チェックは受ける。 (GKの場合)ボールがアウトオブプレーになった時、主審に通知し、主審の許可を得て交代を行う。 交代して退くゴールキーパーは、境界線の最も近い地点から競技のフィールドの外に出る。代わりに入れるゴールキーパーは交代ゾーンからフィールドに入る。 ※FPもGKも負傷等により退く選手は、交代ゾーンからフィールド外に出る必要はない。
42.大会期間中の移籍	①選手個人のチーム移籍自由を制限しない。チームを移籍して1人の選手が移籍元と移籍先を併せて同一大会へ再度(2度以上)出場する事だけを承認出来ないものである。 ②移籍をした1人の選手が同一大会に移籍元と移籍先を併せて再度(2回以上)出場しない事が遵守されなければ規定違反ではない。選手移籍自体は制限しない。 ③移籍元のチームにおいて本大会に出場した者に関しては移籍先のチームにおいてその出場を認めない。選手移籍自体は制限しない。(複数エンターチーム間も同様に1st2nd両方で出場することは出来ない) ④大会期間中に保護者転勤やその他理由での転居などの止められない理由での選手移籍は審議した結果、第4種委員長が状況を確認し承認した後で出場出来る。 ⑤状況に応じた審議の結果で、転居であっても認められない場合もある。
43.他府県チームからの移籍	①選手個人(参加選手)のチーム移籍自由を制限しない。チームを移籍して1人の選手が移籍元と移籍先を併せて同一大会へ再度(2度以上)出場する事だけを承認出来ないものである。 ②関西2府4県FA第4種委員会が主管する『フジバンCUP関西小学生サッカー大会予選』から『フジバンCUP関西小学生サッカー大会』に至るまでに、同一の(参加選手)が異なる(加盟チーム)への移籍後、再び本大会へ参加することを認めない。 ③大阪府以外の移籍元のチームにおいて『フジバンCUP予選』に出場した者に関しては大阪府内移籍先のチームにおいて本大会の出場を認めない。 ④【事例】A県で『フジバンCUP県代表チーム』を決定する大会(以下、甲と記す)にC選手でも出場した事がある。A県のBチームに所属していたC選手がいる。C選手が所属するBチームはA県の(甲)大会で敗退してしまう。C選手は『フジバンCUP』にどうしても出場したいので、Bチームを辞めて大阪府内で『フジバンCUP』出場に向けて勝ち上がっているチームへ移籍して『フジバンCUP』に出場しようとする。この場合、本規定はC選手の大坂府内チームへの移籍には一切の規制や制限を掛けない。但し、移籍する前にA県のBチームに所属していて、一度でもA県の(甲)大会又は『フジバンCUP予選』に出場した事があるC選手に対して、OFA第32回大阪府U-11小学生サッカー大会三井のリハウスカップに出場する事を認めない。 但し、C選手に対しては、関西大会と関連がある大会(KSFA杯、フジバンCUP、JA全農杯チビリビンギー)に関する以外は、一切の規制や制限は行わない。 ⑤(他府県チームから大阪府内チームへに関する問い合わせ)については必ず移籍元・移籍前の各府県FAへ問い合わせされること。大阪府FAでは各府県の『フジバンCUP予選』状況は分かれないので回答出来ない。問合せ者より「大声での威嚇や侮辱的な発言」「過剰な対応の要求・謝罪・補償の要求」が認められた時点で問い合わせ対応を断る。
44.負傷者	負傷者については各チームで処置等を施すこととする。主催者及び主管者は一切の責任を負わない。
45.大会規律委員会	本大会においては、JFA「懲罰規程」に則り、大会規律委員会を設ける。会場責任者の指示に従わない場合、駐車制限、喫煙、ゴミの不始末、施設破損等の問題があつた場合、大会規定違反があつた場合、予期せぬ問題が発生した場合。この場合、大会規律委員会にて対応方法を検討決定し、その対象チームは対応方法決定事項を遵守しなければならない。なお、当該チームの保護者の行為も含まれるので、その啓発及び周知徹底の義務を有する。第4種委員会「観戦&応援ルール」を遵守する義務を有する。
46.延長戦	中央大会の準決勝、決勝、3位決定戦の4試合に限り5分ハーフの延長を実施する。それでも決着がつかない場合はPK戦とする。
47.PK方式	3人制で行う。両チームの得点が同じ場合は、同数のキックで一方のチームが他方より多く得点するまで、順序を変えることなく交互にキックは続けるものとする。



OFA第32回大阪府U-11小学生サッカー大会三井のリハウスカップ 兼 関西小学生サッカー大会大阪府大会 大会規定

48.複数エントリー	複数エントリーの場合、1st2nd各チーム内に大会に参加出来る最高学年が4人以上いることとする。また、その他の学年は最大6名まで入れることが出来る。 地区大会の抽選を行うまでにメンバー表の提出をする。提出方法は複数エントリーチーム用メンバー表を参照する。
49.落雷、荒天等による再試合	<p>①落雷、荒天や選手の怪我などの場合運営側は人命最優先とし、それにより試合続行が困難な場合は試合を不成立とし、その判断は会場責任者が行う。</p> <p>②参加チームは会場責任者の判断に従うこと。試合中に中断した場合は再試合とする。</p> <p>③残り時間を再試合として実施する。再試合時は中断した場所がインプレーであればセンターサークルからドロップボール、 アウトオブプレーの場合はその場所から再開する。再試合時の審判、出場選手は中断時と同一になる様に調整する。</p> <p>④中断期間中に別の試合で出場停止処分を受けた場合でも、再試合には出場できる。</p>
50.肖像権	一般社団法人大阪府サッカー協会又はこれらに認められた報道機関等によって撮影された映像が、中継・録画放映及びインターネットによって配信されることがある。 また、DVD 等に編集され、販売・配付されることがある。これらの肖像権に関する事項は大会参加申込として大会エントリーをした時点で、上記取り扱いに関する承諾を得たものとして対応する。
51.撮影機器の使用	各会場の指示に従うこと。(鶴見人工芝はスタンド、J壇、万博FA、四条畷FAはフェンスの外) ベンチを含むテクニカルエリア内での集合写真や試合中の撮影は認められない
52.その他 補聴器等の装具を着用しての試合出場について	<p>①中央大会日程のバス日は出来ないことをする。ベンチ入リストラッフは小学生年代の指導者として相応しい服装・態度であること。</p> <p>②テクニカルエリア内のテントの使用は認めるが、傘の使用は認めない。大会参加チームは必ずスポーツ傷害保険に加入していることとする。</p> <p>③提供会場の時間に余裕があるときは大会参加チームによる交流戦を実施することも出来るが施設管理者の指示や本部役員の指示が優先されるのでその指示に従う。</p> <p>④本レギュレーションは適宜改訂、改善していくものとする。</p> <p>⑤補聴器等の装具を着用しての試合出場について当該選手・会場責任者・審判団・対戦相手チームの四者間にて四者全員が着用につき事前に同意が必要である。</p> <p>事前に四者間で同意が得られない場合、即ち一者でも異議が表明された場合は、当該装具着用は認められない。この決定に一切の異議を表明する事を禁じる。</p>